

# 事業報告書

平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

## 1. 農作物共済関係

(引 受)

項目		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)
区分								
	水 稻	人 (実) 17,583	a 2,598,287.5	kg 88,680,932	円 17,212,590,886	円 16,727,357	円 14,318,948	円 31,046,305
内 訳	一筆方式	(実) 17,453	2,563,287.2	88,680,932	16,924,673,584	15,666,380	13,626,571	29,292,951
	品質方式	130	35,000.3		287,917,302	1,060,977	692,377	1,753,354
	麦(27年産)	(実) 779	543,504.9		1,568,716,870	51,646,978	38,420,906	90,067,884
内 訳	一筆方式	34	5,461.9	70,167	4,237,761	73,479	52,876	126,355
	災害収入	751	538,043.0		1,564,479,109	51,573,499	38,368,030	89,941,529
	麦(28年産)	(実) 764	541,546.3		1,627,995,306	64,203,624	35,006,004	99,209,628
内 訳	一筆方式	47	16,054.6	226,151	26,186,685	822,547	151,782	974,329
	災害収入	721	525,491.7		1,601,808,621	63,381,077	34,854,222	98,235,299

水 稻 ○ 前年対比：引受面積 99.1%

- 引受概況：平成27年産水稲の引受面積は、前年に比べ231ha減少した。要因としては、米の生産数量目標面積が前年に比べ610ha減少したことによるものである。また、補償単価の減額により共済金額は962,179千円減少した。また、引受方式別の割合（組合員数）は、一筆方式が全体の99.3%を占めており、品質方式は年々減少している。

麦 ○ 前年対比：引受面積 99.6%

- 引受概況：平成28年産麦の引受面積は、前年に比べ20ha減少した。また、共済金額は、前年に比べ59,278千円増額となった。品種は、大麦が全てファイバースノウ、小麦は県大3号であった。

(被 害)

項目		被害組合員数	支払対象面積	共済減収量	生産金額減少額	共済金	共済金 共済金額	備 考
水 稻		人 (実) 626	a 35,681.6	kg 715,384	円 -	円 65,216,606	% 0.4	
内 訳	一筆方式	(実) 606	29,479.2	668,306	3,414,458	62,056,289	0.4	
	品質方式	20	6,202.4	47,078		3,160,317	1.1	
麦		315	186,130.6	1,351,834	79,686,485	77,718,354	5.0	
内 訳	一筆方式	13	1,193.7	10,235	79,686,485	275,258	6.5	
	災害収入	302	184,936.9	1,341,599		77,443,096	5.0	

水 稻 ○ 被害概況：8月中旬からの断続的な降雨や8月25日の台風15号の強風により、県下全域で倒伏が発生した。また、8月中旬以降の日照不足及び低温によりイモチ病が発生した。県下全域においてイノシシ・シカによる倒伏及び食害が発生した。

麦 ○ 被害概況：播種後の10月は台風による降雨の影響で、県下全域で土壤湿潤害が発生した。また、奥越地区を中心とした山間部で、積雪期間が長かったことで雪腐れや根腐れによる生育不良が発生した。また、嶺南の中山間地ではシカによる被害が発生した。

(支 払)

項目		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源				実支払共済金 共済金	
				保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額		その他
水 稻		平成 年 月 日 27. 12. 24	円 65,216,606	円 0	円 31,046,305	円 34,170,301	円 0	円 0	% 100.0
内 訳	一筆方式	27. 12. 24	62,056,289	0	31,046,305	34,170,301	0	0	100.0
	品質方式	27. 12. 24	3,160,317	0					100.0
麦		27. 10. 14	77,718,354	71,846	77,646,508	0	0	0	100.0
内 訳	一筆方式	27. 10. 14	275,258	71,846	77,646,508	0	0	0	100.0
	災害収入	27. 10. 14	77,443,096	0					100.0

## 2. 家畜共済関係

(引 受)

項目 区分	有資格頭数	事業計画頭数	引受頭数	$\frac{\text{引受頭数}}{\text{事業計画頭数}}$	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)
	頭	頭	頭	%	円	円	円	円
成乳牛	940	920	829	90.1	121,049,700	12,028,184	3,146,847	15,175,031
育成牛	40	40	32	80.0	2,373,300			
乳子牛等	1,050	480	431	89.8	9,915,500			
肥育用牛	2,250	1,900	1,696	89.3	232,796,250	6,350,546	2,453,023	8,803,569
肥育用牛	220	130	114	87.7	6,001,550			
その他肉用成牛	220	180	229	127.2	32,602,350			
その他肉用子牛等	250	220	275	125.0	12,482,700			
種豚	430	230	216	93.9	4,830,750	125,890	△ 7,619	118,271
肉豚	2,560	-	926	-	6,667,200	2,561	△ 461	2,100
計	7,960	4,100	4,748	115.8	428,719,300	18,507,181	5,591,790	24,098,971

△：納入保険料

家畜 ○ 前年対比：引受頭数 119.3%

○ 引受概況：乳牛及び肉用牛において飼養頭数の減少が見られたが、肉豚の新規加入により、前年度と比較し引受頭数は768頭の増加となった。また、肉用牛の価額高騰により共済金額は10,964千円増加し、前年比は102.6%となった。

## (事 故)

区分	項目	死 廃 事 故			病 傷 事 故		
		頭 数			共 済 金	件 数	共 済 金
		死 亡	廢 用	計			
		頭	頭	頭	円	件	円
	成 乳 牛	34	75	109	12,534,933	739	8,786,180
	育 乳 成 牛	0	0	0	0	0	0
	乳 子 牛 用 等	28	0	28	936,345	77	588,300
	肥 成 育 用 牛	6	9	15	1,430,339	370	2,878,540
	肥 子 育 用 牛	3	5	8	466,330	240	1,975,140
	そ の 他 肉 用 成 牛	1	2	3	504,659	94	1,260,450
	そ の 他 肉 用 子 牛 等	7	0	7	326,627	86	1,118,270
	種 豚	4	6	10	158,487	9	40,590
	肉 豚	0	0	0	0	0	0
	計	83	97	180	16,357,720	1,615	16,647,470

○ 事故概況：支払共済金は、前年度と比較して死廃事故（対前年支払比 103.6%）及び病傷事故（同比 106.5%）ともに増加した。

## (支 払)

区分	項目	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
	家 畜	33,005,190	11,136,198	21,868,992	0	0	0	100.0

### 3. 果樹共済関係

(引 受)

項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)	
区分									
27 年 産	なし	人 59	a 2,006.3	kg	円 59,810,000	円 1,086,254	円 10,207	円 1,096,461	
	内 訳	半相殺	21	801.4	150,978	21,809,000	387,414	△ 5,167	382,247
		全相殺	25	787.4	175,596	25,127,000	478,014	3,114	481,128
		災害収入	13	417.5		12,874,000	220,826	12,260	233,086
	かき全相殺	18	680.0	80,588	6,366,000	216,444	△ 98,673	117,771	
	うめ	128	9,017.0		99,784,000	3,766,933	△ 858,754	2,908,179	
	内 訳	全相殺	78	5,294.0	277,333	50,042,000	1,901,596	△ 530,445	1,371,151
		災害収入	50	3,723.0		49,742,000	1,865,337	△ 328,309	1,537,028
	計	205	11,703.3	684,495	165,960,000	5,069,631	△ 947,220	4,122,411	
28 年 産	なし	57	2,050.3		64,202,000	1,161,497	5,443	1,166,940	
	内 訳	半相殺	16	632.4	108,901	18,120,000	313,625	△ 12,551	301,074
		全相殺	26	931.4	211,281	30,869,000	586,673	3,249	589,922
		災害収入	15	486.5		15,213,000	261,199	14,745	275,944
	かき全相殺	15	519.0		6,452,000	219,368	△ 100,006	119,362	
	うめ	133	9,180.3		93,851,000	3,534,631	△ 741,073	2,793,558	
	内 訳	全相殺	68	4,102.8	195,043	30,411,000	1,155,618	△ 322,356	833,262
		災害収入	65	5,077.5		63,440,000	2,379,013	△ 418,717	1,960,296
計	205	11,749.6	515,225	164,505,000	4,915,496	△ 835,636	4,079,860		

△：納入保険料

- なし ○ 前年対比：引受面積 102.2%  
 ○ 引受概況：平成28年産なしの引受けは、前年と比較して組合員数2戸減少したが、面積0.4haの増加となった。
- かき ○ 前年対比：引受面積 76.3%  
 ○ 引受概況：平成28年産かきの引受けは、前年と比較して組合員数3戸、面積1.6haの減少となった。
- うめ ○ 前年対比：引受面積 101.8%  
 ○ 引受概況：平成28年産うめの引受けは、前年と比較して組合員数5戸、面積1.6ha増加となった。

## (被 害)

項目		被害組合員数	支払対象面積	共済減収量	共済金	共 済 金 共済金額	備 考
区分							
	なし	人	a	kg	円	%	
	なし	9	183.5	14,095	990,119	1.7	
内 訳	半相殺	4	72.2	6,827	303,700	1.4	
	全相殺	3	71.3	6,552	493,560	2.0	
	災害収入	2	40.0	716	192,859	1.5	
	かき 全相殺	1	88.0	6,392	370,080	5.8	
	うめ	68	5,876.3	161,705	26,567,723	26.6	
内 訳	全相殺	43	3,387.6	93,908	12,715,630	25.4	
	災害収入	25	2,488.7	67,797	13,852,093	27.8	
	計	78	6,147.8	182,192	27,927,922	16.8	

なし ○ 被害概況：7月から8月下旬にかけての台風等の強風により、果実が落下した。

坂井地区の一部の園地で黒星病が発生し減収した。

かき ○ 被害概況：3月下旬の低温による降霜の影響で、発芽後の新芽が枯死し、着果数が減少した。

うめ ○ 被害概況：2月下旬から3月中旬の開花時期において、天候不順であったことから受粉不良となり着果数が減少した。  
また、台風6号の接近に伴う強風により、肥大期を迎えていた果実が落下した。

## (支 払)

項目		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
区分				保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
	なし	平成 年 月 日	円	円	円	円	円	円	%
	なし	27.12.24	990,119	0	977,687	12,432	0	0	100.0
内 訳	半相殺	27.12.24	303,700	0	303,700	0	0	0	100.0
	全相殺	27.12.24	493,560	0	481,128	12,432	0	0	100.0
	災害収入	27.12.24	192,859	0	192,859	0	0	0	100.0
	かき 全相殺	28.2.4	370,080	235,672	117,771	16,637	0	0	100.0
	うめ	27.10.9	26,567,723	21,441,701	2,908,179	1,071,395	0	1,146,448	100.0
内 訳	全相殺	27.10.9	12,715,630	10,273,084	1,371,151	1,071,395	0	0	100.0
	災害収入	27.10.9	13,852,093	11,168,617	1,537,028	0	0	1,146,448	100.0
	計	—	27,927,922	21,677,373	4,003,637	1,100,464	0	1,146,448	100.0

## 4. 畑作物共済関係

### (引 受)

項目		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)
区分								
	大豆	人 270	a 146,851.6	kg 1,968,458	円 499,373,994	円 34,471,432	円 2,285,171	円 36,756,603
内訳	一筆方式	73	26,241.2	261,626	37,348,666	2,268,949	626,437	3,793,386
	半相殺方式	18	5,345.0	63,702	16,093,106	898,000		
	全相殺方式	179	115,265.4	1,643,130	445,932,222	31,304,483	1,658,734	32,963,217
	そば	(実) 794	326,316.0	1,097,492	278,471,806	17,669,269	1,357,001	19,026,270
内訳	夏そば	2	3,515.3	9,043	1,917,116	121,642	1,357,001	19,026,270
	秋そば	794	322,800.7	1,088,449	276,554,690	17,547,627		

大豆 ○ 前年対比：引受面積 117.4%

- 引受概況：平成27年産大豆の引受けは、前年と比較して組合員数12戸減少したが、面積は217ha増加した。  
これは、福井県の奨励品種である「里のほほえみ」の作付が拡大したことによるものである。  
共済金額は、引受面積の増加等に伴い、前年に比べ34,359千円増加した。

そば ○ 前年対比：引受面積 103.9%

- 引受概況：平成27年産そばの引受けは、前年と比較して組合員数136戸減少したが、面積は122ha増加した。  
これは、農地集積化と、大規模農家の新規加入等によるものである。共済金額は、営農継続支払の調整措置等により、低いキログラム当たり共済金額で引受けした組合員が多かったため、前年に比べ241,134千円減少した。

## (被 害)

区分	項目	被害組合員数	支払対象面積	共済減収量	共済金	$\frac{\text{共 済 金}}{\text{共 済 金 額}}$	備 考
		人	a	kg	円	%	
	大 豆	13	1,579.1	5,648	1,110,256	0.2	
内 訳	一 筆方式	9	667.8	1,243	133,001	0.4	
	半相殺方式	-	-	-	-	0.0	
	全相殺方式	4	911.3	4,405	977,255	0.2	
	そ ば	177	48,365.8	39,782	10,028,775	3.6	
内 訳	夏そば	-	-	-	-	0.0	
	秋そば	177	48,365.8	39,782	10,028,775	3.6	

大 豆 ○ 被害概況：8月上旬の無降雨により一部圃場で青立ちが発生した。  
また、中山間地ではイノシシ・シカによる被害が発生した。

そ ば ○ 被害概況：8月中旬から9月上旬にかけての長雨及び台風18号の大雨の影響で湿潤害となった。  
10月上旬・下旬の強風の影響で、倒伏や枝折れ、花実の落下被害が発生した。  
また、中山間部ではイノシシ・シカによる被害が発生した。

## (支 払)

区分	項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					$\frac{\text{実支払共済金}}{\text{共 済 金}}$
				保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
		平成 年 月 日	円	円	円	円	円	円	%
	大 豆	28.3.24	1,110,256	0	1,110,256	0	0	0	100.0
内 訳	一筆・半相殺	28.3.24	133,001	0	133,001	0	0	0	100.0
	全相殺方式	28.3.24	977,255	0	977,255	0	0	0	100.0
	そ ば	28.3.24	10,028,775	0	10,028,775	0	0	0	100.0
内 訳	夏そば	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	秋そば	28.3.24	10,028,775	0	10,028,775	0	0	0	100.0

## 5. 園芸施設共済関係

(引 受)

項目 区分		組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
				m <sup>2</sup>	円	円	(A) 円	(B) 円	(A)+(B) 円
ガラス室Ⅱ類		人 21	棟 30	16,899	182,651,000	146,097,000	191,798	147,594	339,392
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	Ⅱ類 (パイプ)	732	2,807	595,675	1,273,731,000	1,012,428,000	7,808,237	2,580,616	10,388,853
	Ⅲ類 (鉄骨下)	93	206	63,960	287,695,000	226,601,000	857,717	489,637	1,347,354
	Ⅳ類甲 (鉄骨中・軟)	26	57	31,021	159,872,000	127,186,000	164,172	118,131	282,303
	Ⅳ類乙 (鉄骨中・硬)	30	48	42,617	367,229,000	293,750,000	334,414	227,099	561,513
	Ⅴ類 (鉄骨上)	9	19	7,296	49,028,000	39,209,000	63,488	△ 319	63,169
	Ⅵ類 (雨よけ)	9	30	9,998	21,142,000	16,899,000	74,032	13,549	87,581
計		(延) 920	3,197	767,466	2,341,348,000	1,862,170,000	9,493,858	3,576,307	13,070,165

△：納入保険料

○ 前年対比：引受棟数 96.2%

○ 引受概況：昨年度2月の制度改正による引受月の変更、また被覆時期の変更等により、前年度と比較して組合員数130戸、引受棟数123棟の減となった。

## (被 害)

項目 区分		被 害			損害の額	共 済 金				共 済 金 共済金額
		組合員数	棟数	附 帯 施設数		特 定 園芸施設	附 帯 施 設	施設内 農作物	合 計	
ガラス室Ⅱ類		人 1	棟 1	基 0	円 375,312	円 0	円 0	円 300,249	円 300,249	% 0.2
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	Ⅱ 類 (パイプ)	20	23	0	2,296,378	1,266,150	0	555,374	1,821,524	0.2
	Ⅲ 類 (鉄骨下)	4	5	2	657,546	255,191	41,914	216,558	513,663	0.2
	Ⅳ類甲 (鉄骨中・軟)	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	Ⅳ類乙 (鉄骨中・硬)	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	Ⅴ 類 (鉄骨上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	Ⅵ 類 (雨よけ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計		(延) 25	29	2	3,329,236	1,521,341	41,914	1,072,181	2,635,436	0.1

○ 被害概況： 8月の台風15号による風害、12～1月にかけての風害、雪害が発生した。また、5～6月にかけての高温による内作物への被害が発生した。前年と比較し、棟数は42棟、支払共済金は6,339千円減となった。

## (支 払)

項目 区分		実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
園芸施設		円 2,635,436	円 294,424	円 2,341,012	円 0	円 0	円 0	% 100.0

## 6. 任意共済関係

### (1) 建物共済

#### (引 受)

区分 \ 項目	加入棟数	共済金額	共 済 掛 金		1棟当たり 平 均 共済金額	備 考
			純共済掛金	賦課金		
建 物	棟 39,469	円 436,060,890,000	円 213,651,867	円 155,709,417	円 11,048,000	火災共済：36,615棟 総合共済：2,854棟

○ 前年対比：共済金額 97.9%

○ 引受概況：前年に比べて共済金額は91億9千万円の減少となった。

一方、風災・雪災・地震を補填する総合共済において棟数が38棟増加した。

#### (事 故)

区分 \ 項目	事故棟数	加入総共済金額	支払共済金	備 考
建 物	棟 216	円 2,183,100,000	円 36,845,097	火災：10件、落雷：109件、爆発：1件、物体の落下等：24件、車両の飛び込み：22件 給排水設備の事故に伴う水ぬれ：4件、盗難によるき損又は汚損：9件、 雪害：18件、風水害：19件

○ 事故概況：前年に比べて事故発生件数は182件、支払共済金は23,425千円減少した。

主な事故では、落雷事故の発生件数が全体の50.5% 4,833千円、外部からの落下等が11.1% 401千円、車両の飛び込みが10.2% 2,305千円、風水害が8.8% 2,727千円、雪害が8.3% 2,798千円、火災が4.6% 21,487千円、盗難によるき損又は汚損が4.2% 277千円、給排水設備の事故に伴う水ぬれが1.9% 142千円、爆発が0.4% 1,876千円

## (2) 農機具共済

### (引 受)

区分 \ 項目	加入台数	共済金額	共 済 掛 金		1台当たり 平均 共済金額	備 考
			純共済掛金	賦課金		
	台	円	円	円	円	
農機具	5,581	18,797,130,000	52,253,683	21,426,880	3,368,000	屋外型： 4,815台 屋内型： 766台

○ 前年対比：共済金額 101.2%

○ 引受概況：前年に比べて台数は119台減少したが、機械の大型化に伴い共済金額では216,450千円の増となった。

### (事 故)

区分 \ 項目	事故台数	加入総共済金額	支払共済金	備 考
	台	円	円	
農機具	128	815,130,000	17,486,931	火災：1件、接触・衝突：79件、転覆・墜落：3件、自然災害・突風：3件 異物の巻き込み：13件、その他稼働中の事故：28件、物体の落下：1件

○ 事故概況：前年に比べて事故発生件数は19件、支払共済金は17,060千円減少した。

主な事故原因は、接触・衝突事故が79台と全体の61.7%を占めた。また、機種別では、トラクタとコンバインが95台と全体の74.2%を占めた。